

「第1回KPMGジャパン秘密計算ハッカソン」で サービスイノベーション部のチームが優勝

2019年11月7～8日にかけて、KPMGジャパン主催「第1回KPMGジャパン秘密計算ハッカソン」が開催され、サービスイノベーション部の森田 康介、長谷川 慶太、千田 拓矢、KPMG Ignition Tokyoのクラナ・タルン氏が企画開発した「秘密計算を使った電子投票システム」が優勝しました。

秘密計算とは、データを暗号化したまま、復号することなくデータ分析や処理などの利活用を可能とする技術で、今回のハッカソンでは、「秘密計算でビジネス課題を解決する」をテーマに参加者数名でチームを作り、秘密計算技術を活用したプログラム

を作成し、開発アイデアや性能を競いました。

今回提案した、秘密計算を使った電子投票システムは、課題意識やアイデア、企画からプログラミングの実装までが非常に優れていたと評価され、今回の受賞となりました。

長谷川は今回の提案した電子投票システムに関して、「電子投票システムのアーキテクチャは、オークションや競争入札のような例にも応用が可能」とコメントしています。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。



(左から) 長谷川, クラナ・タルン氏, 千田